

平成30年3月14日

発 言 者	発 言 要 旨
菊池委員	繰越額は昨年と比べてどうか。
管理課長	昨年と比べて合計で約3億円多くなっている。
菊池委員	繰越事由について、資材の入手困難というのはどういうものか。特殊な資材、資材の高騰などがあったのか。
参事(兼)河川課長	具体的には、鶴岡市羽黒の黒瀬川河川改修事業で、架け替える市道の昼田橋において、入札不調で工事が遅れたことに加え、上部工のPC(プレストレスト・コンクリート)鋼材等が特殊だったことで調達に時間を要し、3か月ほど繰り越すことになった。
菊池委員	繰越された工事への今冬の豪雪による影響はどうだったのか。
管理課長	今年度は災害対応による繰越が前年度より減少した一方、国補正予算による繰越が増加したことで、全体としては、3億円ほど増加した。
参事(兼)河川課長	個別事業への大雪の影響としては、河川流下能力向上対策事業で、掘削土の受入先が積雪により確保できないことから、繰越となった河川がある。